

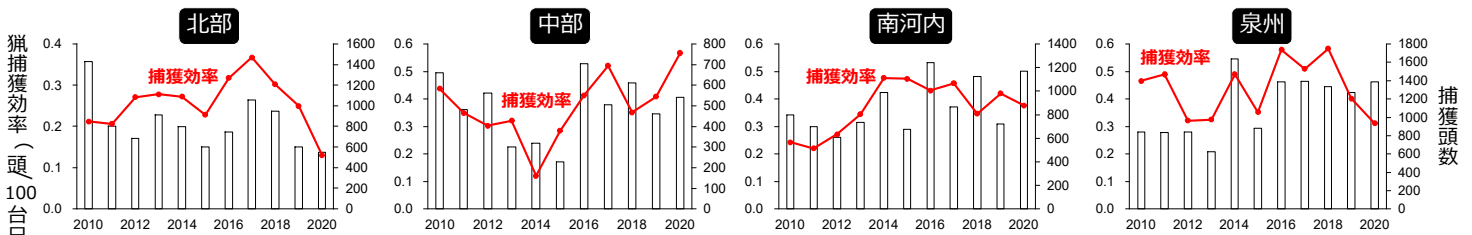
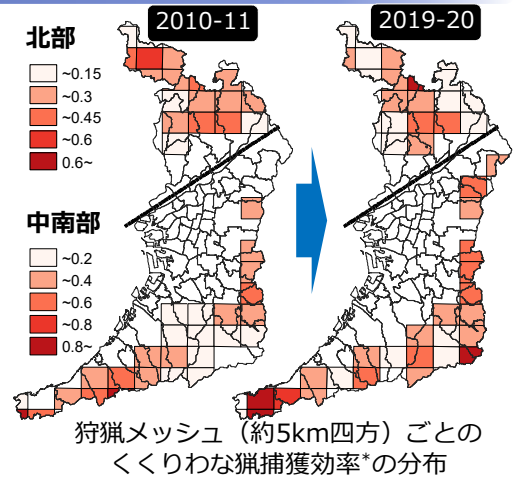


イノシシのモニタリング調査

府内全域で農業被害が大きな問題となっているイノシシとの共存を、科学的管理のもとに進めるために、生息状況や被害状況の把握を行っています。

イノシシの分布と生息密度の変化

- イノシシは山間部のほぼ全域に分布しています。
- 個体数は、1990年頃から大きく増加したようです。
- 近年の増減傾向は地域によってことなっています。例えば、北部では2017年以降減少している一方で、中部では2014年以降増加傾向にあるようです。
- 北河内地域で分布拡大傾向にあるほか、近年は市街地に残された森林域にも分布が拡大しているようです。

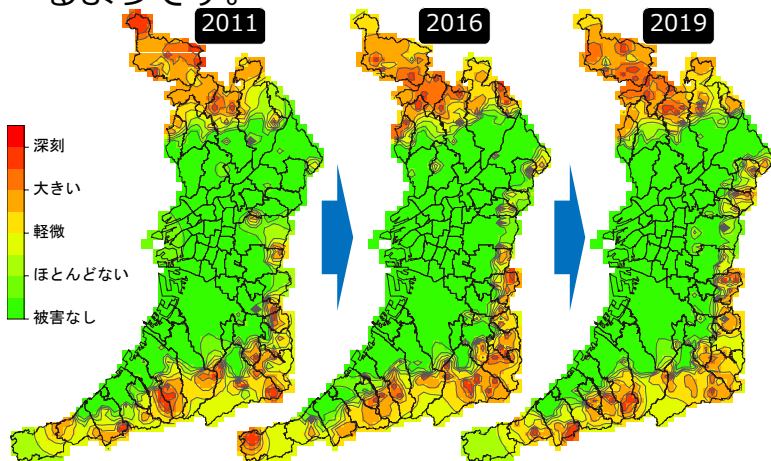


イノシシのくくりわな猟捕獲効率*と捕獲頭数の推移

※くくりわな猟捕獲効率：くくりわな1台100日あたりの捕獲頭数で、生息密度の増減や大小が把握できる指標

農業被害の発生状況

- 被害状況も地域によって異なりますが、変動しつつもほぼ一定で推移している地域が多いようです。
- イノシシの分布拡大傾向のみられる中部地域では、2012年以降被害も増加傾向にあるようです。



イノシシによる農業被害強度の分布とその推移（※アンケート調査から評価）

